

短 報

富山県におけるアカギカメムシの追加記録

岩田 朋文<sup>1)</sup>, 井出 哲哉<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 富山市科学博物館 939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

<sup>2)</sup> 氷見市海浜植物園 935-0031 氷見市柳田3583

An Additional Record of  
*Cantao ocellatus* (Thunberg, 1784)  
in Toyama Prefecture, Japan

Tomofumi Iwata<sup>1)</sup> and Tetsuya Ide<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi,  
Toyama 939-8084, Japan

<sup>2)</sup> Himi Seaside Botanical Garden, 3583 Yanagida, Himi,  
Toyama 935-0031, Japan

1. はじめに

アカギカメムシ *Cantao ocellatus* (Thunberg, 1784) は、アカメガシワ *Mallotus japonicus* などを寄主植物とするキンカメムシ科 Scutelleridae の一種である (安永ほか, 1993)。本種は、国内では南西諸島が分布北限とされていたが (高井・石川, 2012), 2000年前後から全国各地で発見例が増え (堀・野村, 2021), 中には定着個体群 (山田・兼田, 2010) や一時的な繁殖集団 (重中, 2004; 大川・加藤, 2016; 皆木, 2019) も確認されている。また, しばしば長距離を移動することがあり (安永ほか, 1993), 日本海上においても複数の確認例 (松井ほか, 2009; 皆木, 2019; 藤中, 2021) が存在する。

富山県では, 2020年10月に氷見市で1頭のみ採集されており (岩田・井出, 2020), これが県内唯一の記録であった。筆者らは, 氷見市において新たに本種を採集したので, 富山県2例目の記録として報告する。

2. 記録

1頭, 富山県氷見市鞍川, 7. XI. 2020, 井出哲哉・亀谷三志採集, 富山市科学博物館保管, TOYA-Ji-42960 (図1)。

3. 発見時の状況

記録個体は, 氷見市役所の外壁に静止していたものである。2020年11月5日に前田智之氏により発見され, 11月6日に亀谷三志氏と澤田研太氏を通じて筆者の岩田に連絡があり, 11月7日に亀谷氏と筆者の井出が採集した。発見されたのは1個体のみであった。この個体は前胸背側角に突起が無いタイプであった。

4. 考察

本稿の記録は, 寄主植物ではない場所から成虫1個体のみが確認されたものであるため, 岩田・井出 (2020) の記録と同様, 偶産と考えられる。

富山県では, 岩田・井出 (2020) と本稿により, 2020年に氷見市で成虫が続けて確認された。本稿の記録は, 岩田・井出 (2020) の記録から約1か月後に, 約3 km離れた地点において確認されたものであり, 発見時期や場所が類似している。2020年まで本種の県内記録が無かったことを踏まえると, 両記録は何らかの同一要因によって氷見市内にもたらされた可能性が考えられる。具体的には, 荷物への随伴などによる人為的移入や, 国外を含む南方からの飛来が考えられるが, 今回得られた情報だけでは特定できなかった。

5. 謝辞

本稿を記すにあたり, 情報提供者の前田智之氏 (氷見市役所), 亀谷三志氏 (氷見市役所), 澤田研太氏 (富山県立山カルデラ砂防博物館) にお礼申し上げる。

6. 引用文献

藤中由美, 2021. 秋田県初記録のアカギカメムシ. 秋田

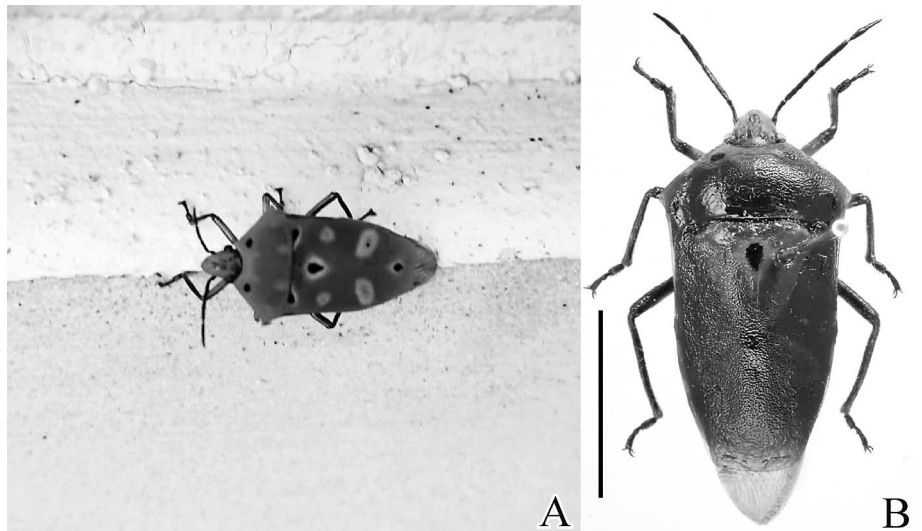


図1 富山県氷見市のアカギカメムシ。A, 発見時の生体写真; B, Aと同じ個体の標本写真 (スケールバーは10.0 mm)。

- 県立博物館研究報告, (46) : 1-2.
- 堀 繁久・野村昭英, 2021. 2020年秋に北海道へ飛来及び漂着したアカギカメムシ. 北海道博物館研究紀要, (6) : 1-10.
- 岩田朋文・井出哲哉, 2020. 富山県におけるアカギカメムシの初記録. 月刊むし, (599) : 45-46.
- 松井正人・富沢 章・日吉芳朗, 2009. 2007年に日本海海上で採集された昆虫. 月刊むし, (464) : 40-43.
- 皆木宏明, 2019. 島根県初となるアカギカメムシ (カメムシ目キンカメムシ科) の確認記録. 島根県立三瓶自然館研究報告, (17) : 51-54.
- 大川秀雄・加藤裕一, 2016. 渡良瀬遊水池におけるアカギカメムシの記録. 月刊むし, (550) : 17-18.
- 重中良之, 2004. 山口県でアカギカメムシの終齢幼虫コロニーを確認. 月刊むし, (395) : 40-41.
- 高井幹夫・石川 忠, 2012. キンカメムシ科. 石川 忠・高井幹夫・安永智秀 (編) 日本原色カメムシ図鑑第3巻, pp. 457-462. 全国農村教育協会.
- 山田量崇・兼田武典, 2010. 徳島県勝浦町でアカギカメムシを確認. 徳島県立博物館研究報告, (20) : 73-76.
- 安永智秀・高井幹夫・山下 泉・川村 満・川澤哲夫, 1993. 日本原色カメムシ図鑑, 380p. 全国農村教育協会.